

『文学の層』

～言葉の錬金術をめぐる考察～

ある意味、あなたが読むすべてのテキストは、
あなたの心を反映する鏡です。

別の見方をすれば、すべてのテキストは
作者の暗示に過ぎず、不透明です。

読者はある意味、ゴミを吸い取る
掃除機のようなものです。

別の意味で読者は、貴重な言葉の種を育てる
植木職人でもあります。

つまり、文学はあらゆる側面から
見る事が可能です：

作者が何を言いたいのか
訊ねる代わりに、
テキストを開いてみましょう。

ミン：（咳をして）ねえ、この変人じいさんは何を言っているんでしょう？ 理解できる？

玲亜： なんかポストモダンの戯言みたいな感じね。あなたはこの詩を本当に理解したいの？

ミン：（いたずらっぽく、まばたきをする）忙しすぎて今は、集中できません。私の集中力が
持続するのは、15秒が限界です。

- T Newfields (訳: 吉田典子)

開始: 1999年 マウイ島 完成: 2024年 静岡市